

平成29年度 第3学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	・話を最後まで聞かずに、大事なことを聞き洩らすことがある。 ・文章を順序立てて書くことが困難な児童が多い。	・聞く姿勢を身に付け、聞く時の視点を意識することができるようにする。 ・文章の構成を理解、活用し、達成感や成就感をもつことができるようにする。	・日常の学習活動の中では、学習の流れやキーワードを板書し、視覚的にも見直しをもって聞くことができるようにすると共に、聞く学習では特に「聞くめあて」の視点に基づいて聞く姿勢を作る。 ・「はじめ」「中」「終わり」に分けて文章を書くことを意識させる。「中」の文章は、教材文の組み立ての視点を示して書くことができるようにする。
	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能			
全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて				
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	・教師が教えたことや自分で調べたことには興味をもつことができるが、そこから更に疑問をもって追究することができていない児童が多い。 ・資料の活用、読み取りは、慣れていないため、不十分である。	・自分たちに関わりのある事象に対する関心を持ち、自ら学ぶ意欲をより高められるようにする。 ・知識や技能を確実に身に付けられるようにする。	・教科書以外にも関係のある資料を提示し、様々な視点から考えることができるようにする。 ・クイズ作成や問題づくりを通して理解を深める授業を取り入れる。 ・地図やグラフ、写真から気付くことを交流したり、資料を比較して見たりして、資料の見方を指導していく。
	社会的な思考・判断・表現 観察・資料活用の技能・表現 社会的事象についての知識・理解			
児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて				
算数	算数への関心・意欲・態度	・問題解決型の学習の検討・考察の場面において、友達の考えのよい所や自分の考えと異なる部分などを意識して捉えられないことが多い。 ・かけ算、繰り上がり、繰り下がりのある計算、時刻と時間のもとのめ方や長さの問題が苦手な児童が多い。 ・図形や図形の構成要素の名称をきちんと言えない児童が多い。	・自分と同じところ、違うところを意識して聞くなど、思考力、判断力を高めることができるようにする。 ・時間の単位「秒」の概念や、1分は60秒等の単位関係、距離や道のりの意味や求め方など、知識、技能を確実に身に付けられるようにする。 ・図形や図形の構成要素についての理解を確実にする。	・検討・考察場面において、聞く時の視点を提示する。また、ノートに書く際の型を提示する。 ・基本的な計算については、繰り返し、スパイラル学習を行う。時刻と時間は十進法と異なるが、児童に理解を十分させるべく復習時間を多く設定する。長さや体積について、およその見当を付けたり、計器を用いて測定する活動を多く取り入れる。また、東京ベーシックドリルを活用し、練習問題を定期的に行っていく。 ・図形学習の際には図を多用し、授業後も教室に掲示できるようにして、学習内容の定着を図る。
	数学的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解			
全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて				
理科	自然事象への関心・意欲・態度	・自然現象など、日常生活との関わりを意識することが難しい。 ・物事を科学的に考える機会が少ない。	・日常生活の当たり前の事象を科学的な視点から捉え、思考力・判断力を高めることができるようにする。 ・身近な自然について、差異点・共通点という視点から考える力を身に付けさせる。	・体験的な学習を計画的に取り入れる。児童の日常生活で見かける事象に置き換えて問題を提示したり、児童がより考えられる発問の工夫をする。 ・一つの事象に対して、ワークシートにおける観察を継続して行ったり、関連した資料を提示したりすることで、児童が比較し、差異点・共通点を見出すことができるよう工夫する。 ・実験においては、予想をたて、実験し結果を出し、そこから言えることをまとめるという学習過程を意識させ、思考を深める工夫をする。
	科学的な思考・表現 観察・実験の技能・表現 自然事象についての知識・理解			
児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて				
音楽	音楽への関心・意欲・態度	・基礎的な表現の技能が身に付いていない児童がいる。 ・リコーダーの基本的な奏法を身に付けるのに個人差がある。	・やってみようという気持ちを大事に育てていく。 ・継続的な指導及び興味をもちやすい教材や教具の準備をする。	・教師や友達の演奏を手本に模倣したり、楽しく技能が身に付くような練習をさせたりして、定着を図る。 ・リコーダー指導時のルールを明確に示す。持ち方や姿勢も毎回確認をして徹底する。タンギングや息の出し方を工夫することで、リコーダーの音色が変わることに気付かせ、楽しみながら演奏できるように指導する。
	音楽表現の創意工夫 音楽表現の技能 鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	・ひとつの課題にコツコツ取り組むことが苦手である。 ・作品作りに時間がかかる。 ・絵の具の扱いやカッターの扱いが苦手な児童がいる。	・丁寧に仕上げるよう指導する。 ・時間やその日のめあてを明確にする。 ・絵の具やカッターを題材に取り入れ、扱いに慣れるようにする。	・教師見本を細分化し、細かいところまで丁寧に作り上げると、素敵な作品ができるということを実物を見せて指導する。 ・「今日のめあて」や「片付けの時間」を黒板に掲示することで、児童が時計を意識して作品制作に取り組めるようにする。 ・絵筆の扱いや、カッターの指導を、実演を交えて指導することで、視覚から理解できるようにする。
	発想や構想の能力 創造的な技能 鑑賞の能力			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	・体全体を運動させた動きが苦手な児童がいる。 ・器械運動やボールゲームの用具の扱いなどの技能面での個人差が大きい。	・技能を確実に身に付けることができるようにする。 ・器械運動や道具の使い方など、確実に身につけることができるようにするとともに、意欲的に活動できるように、友達の良いところを認め合うなどし、コミュニケーション能力を高めることができるようにする。 ・ルールを簡単なものにし、分かりやすく図で説明したりする。	・コオーディネーショントレーニングや体づくり運動を通して、体の多様な動きを身に付けさせる。 ・学習カードや映像資料で動きのポイントを示す。 ・友達の動きのよさやそこから学んだコツを自分の動きに生かせるように共有する時間をつくる。 ・ホワイトボードを活用し、毎回の授業の流れを提示する。また、ルールを簡潔に書くことで視覚的に児童に伝えられるようにする。
	運動や健康・安全についての思考・判断 運動の技能 健康・安全についての知識・理解			